

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	☒ 安全 ☐ 防災 ☐ 環境 ☐ コスト ☐ ICT ☐ 品質 （該当する分類に○を付けてください）																	
技術名称	PCフレーム	担当部署	九州支部															
NETIS登録番号	KT-990350-A	担当者	有 水 弘 行															
社名等	KTB協会・PCフレーム協会	電話番号	092-725-7889															
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 ・高品質のプレキャスト・プレストレストコンクリート板(PCフレーム)を受圧板として使用し、KTB永久アンカーと組み合わせることにより、アンカー力を確実に地山に伝える、極めて安全性の高いのり面受圧板工法です。 ・軽量化されたプレキャストのり枠の採用により、大幅な工期の短縮とコストダウンがはかれ、極めて安全で経済的です。 ・地山を長期間緩めることなく、安全施工ができる逆巻き工法に最適なプレキャスト製品(PCフレーム)です。・斬新なデザインのプレキャストのり枠で、のり面緑化にマッチした美しい景観が得られる。 2. 技術の内容 ①何について何をする技術なのか？ ・のり面、急傾斜、地すべり地、擁壁等に、グラウンドアンカーを用いて、プレキャスト受圧板で押え込んで斜面・法面の安定を図る技術である。 ②従来はどのような技術で対応していたのか？ ・斜面・法面の安定化には、現場打設枠工、吹付法枠工等で対応していた。 ③公共工事のどこに適用しますか？ ・道路切土のり面、災害復旧のり面、急傾斜地、地すべり地対策、擁壁、石積の補強等に適用でき、緑化も可能である。 3. 技術の効果 ①どこに新規性があるのか？（従来技術として何を改善したか？） ・プレキャスト法枠として、工場二次製品した。現場施工を省略して工期短縮を計っている。 ②期待される効果は？（新技術のメリットは何か？） ・プレストレストコンクリート製の法枠であるため、部材の軽量化、高強度が図れる。部材の取り付け作業が容易で、重機による施工で、工期が大幅に短縮される。アンカー打設角度の変化に対応できる。・プレストレストコンクリート製の受圧板は、必要に応じて法枠の形状が自由に選 4. 技術の適用範囲 条件 ①自然条件: 通常の作業環境であれば可能(強風、豪雨を除く) ②現場条件: プレキャスト受圧板が現場搬入、取付が可能であること。 受圧板取付接地面が平坦に整形できること。(法面裏込工で対応も可能である。) ③技術提供可能地: 技術提供地域については制限無し ④関係法令等: 労働安全衛生法、コンクリート地盤関係示方書等 ⑤特に効果の高い適用範囲 切土のり面、地すべり地、崩壊斜面・のり面对策、急傾斜地対策、ダムのにり面对策等 ⑥適用できない範囲: オーバーハングのり面、玉石等により受圧板接地面の整形が困難な斜面・のり面 ⑦適用にあたり、関係する基準およびその引用元 コンクリート標準示方書(社)土木学会 グラウンドアンカー工法標準施工基準、同解説(社)地盤工学会 グラウンドアンカー工法標準施工マニュアル(社)日本アンカー協会 5. 活用実績 (H29年8月現在) <table border="0"> <tr> <td>国の機関</td> <td>172件 (九州</td> <td>35件</td> <td>、九州以外</td> <td>137件)</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>1443件 (九州</td> <td>571件</td> <td>、九州以外</td> <td>872件)</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>41件 (九州</td> <td>5件</td> <td>、九州以外</td> <td>36件)</td> </tr> </table>			国の機関	172件 (九州	35件	、九州以外	137件)	自治体	1443件 (九州	571件	、九州以外	872件)	民間	41件 (九州	5件	、九州以外	36件)
国の機関	172件 (九州	35件	、九州以外	137件)														
自治体	1443件 (九州	571件	、九州以外	872件)														
民間	41件 (九州	5件	、九州以外	36件)														

6. 写真・図・表

工場製作されるプレストレストコンクリート製受圧板で「高品質」な製品です。主に切土法面の安定化および自然斜面の崩壊や地すべり防止に多くの実績があります。グラウンドアンカーと組み合わせて使用します。



PCフレームアンカー工法